

2025 年度 勤務実態調査集計

兵庫県高等学校教職員組合
調査部 総務部

1. 集計方法

集計対象：兵庫県内の公立高校、特別支援学校の管理職を除く、全教職員

集計期間：9 月 8 日（月）～ 14 日（日）を基準に、主に 9 月中の 1 週間を集計

集計方法：アンケートの書面への記載および Google フォームへの入力

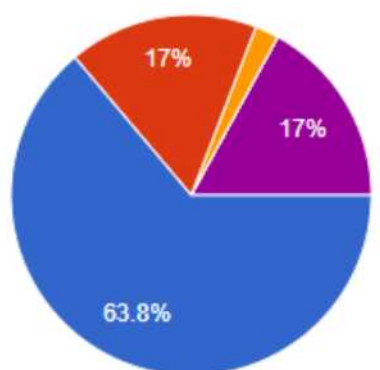
集計項目：アンケートの書面を 2 頁に添付

2. 集計結果

0) 総論・・・超過勤務の解消が進んでいるとは言えず、また、その原因にも変化がない。

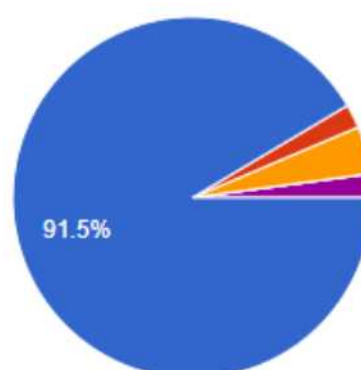
- ・コロナ以前の 2018、2019 年と同じ集計項目でしたところ、多少の変化はあるものの、相対的に超過勤務は、概ね変化していない。
- ・高校では部活動で土日出勤も多く、部活動への不満は大きい。一方で、教育的視点から部活動への手当の増、人員配置の増を望む声もみられた。
- ・特別支援学校では、給食指導の時間があるので、休憩時間は生徒帰宅後の 15 時頃に設定されているところが多いが、あまり休憩は取れていない。

1) 雇用形態



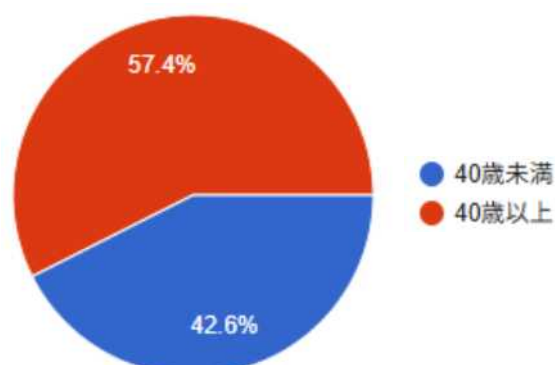
- 正規
- 再任用 5 日
- 再任用・定年延長短時間 3 日
- 再任用・定年延長短時間 2 日
- 臨時の常勤

2) 職種(いずれも臨時を含む)



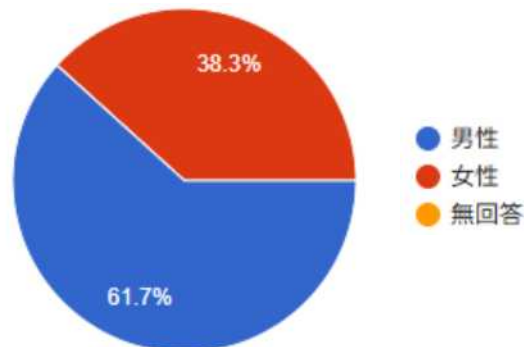
- 教諭・主幹教諭・講師
- 養護教諭
- 実習教員(実習助手)
- 寄宿舎教員
- 栄養教諭・栄養職員
- 現業職員
- 事務職員
- その他

3) 年齢



- 40 歳未満
- 40 歳以上

4) 性別



- 男性
- 女性
- 無回答

勤務実態調査 ～超過勤務の解消のために～

教職員の多忙が目立っています。私たちにとっては、最近出てきた問題ではなく、長年の解決すべき課題です。毎年、確定交渉などで実効ある超過解消を求めています、あまり改善が進んでいません。

高教組は、6 年ぶりに勤務実態調査を行います。県立高校・特別支援学校などの常勤の教職員にご協力いただき、「超勤時間の実態」「超勤の原因となっている業務」「超勤に関する問題点」など超過勤務の実態を集約して、確定交渉など超勤縮減を進めるために活用します。

選択肢のあるものは番号で、そうでないものは記述で回答してください。お忙しいところは存じますが、ご協力をお願いします。

1. 基礎データ

学校名

学校

雇用形態

①正規 ②再任用 5 日 ③再任用・定年延長短時間 3 日 ④再任用・定年延長短時間 2 日

⑤臨時の常勤

職種
(いずれも臨時を含む)

①教諭・主幹教諭・講師 ②養護教諭 ③実習教員(実習助手) ④寄宿舎教員

⑤栄養教諭・栄養職員 ⑥現業職員 ⑦事務職員 ⑧その他

年齢

①40 歳未満 ②40 歳以上

性別

①男 ②女 ③無回答

年齢(番号で)

性別(番号で)

2. 超過勤務の時間の把握のために [9 月 8 日(月)～14 日(日)を基本としますが、他の連続する 7 日間でも構いません。曜日に合わせてご記入ください]

始業時刻

:

終業時刻

:

	出勤時刻	退勤時刻	休憩時間中の勤務	持ち帰り仕事	割振変更で減らした勤務時間
9 月 日(月)	:	:	分	分	分
9 月 日(火)	:	:	分	分	分
9 月 日(水)	:	:	分	分	分
9 月 日(木)	:	:	分	分	分
9 月 日(金)	:	:	分	分	分
9 月 日(土)	:	:	分	分	分
9 月 日(日)	:	:	分	分	分

3. あなたにとって超過勤務の主な原因となる業務(下の選択肢から 3 つ以内で回答)

「⑬その他」の場合 具体的に ()

4. あなたにとって休憩時間が確保できない主な原因となる業務(下の選択肢から 3 つ以内で回答)

「⑬その他」の場合 具体的に ()

選択肢

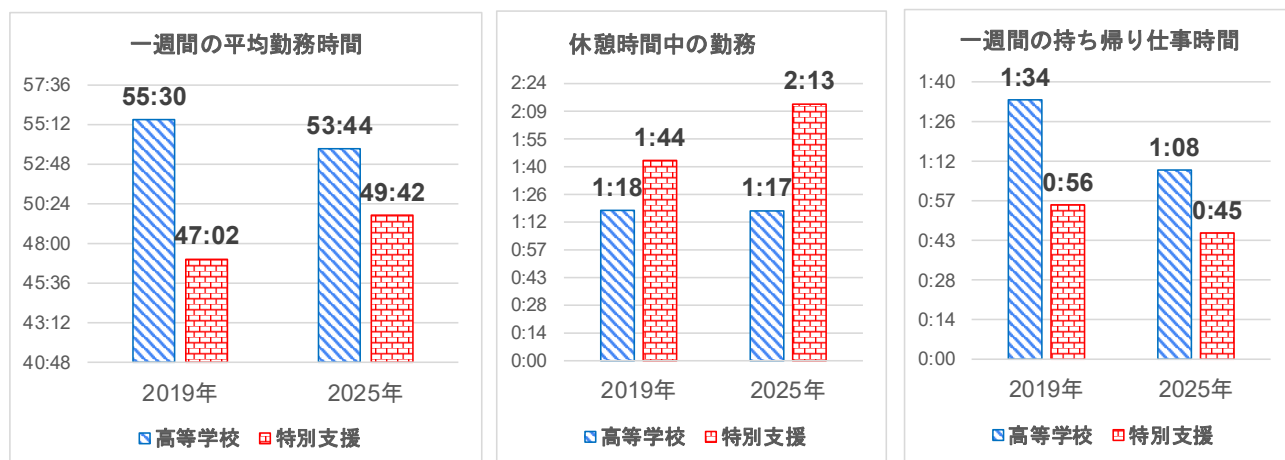
- ①授業・授業準備 ②分掌の業務(担任・学年・部など) ③会議(職員・学年・委員会・研修など) ④学校行事 ⑤補習
- ⑥部活動指導 ⑦学校の「特色」に関わる業務 ⑧児童・生徒に関わる業務 ⑨保護者対応
- ⑩報告・提出を求められる書類 ⑪教育委員会主催の研修 ⑫PTA・地域行事への参加 ⑬その他

5. 超勤について困っていることや、こうしてほしいと思っていることなど、お書きください。

ご協力ありがとうございました。
月 日までに分会の()にお渡しください。FAX [兵庫高教組 078-351-3185] していただいても構いません。

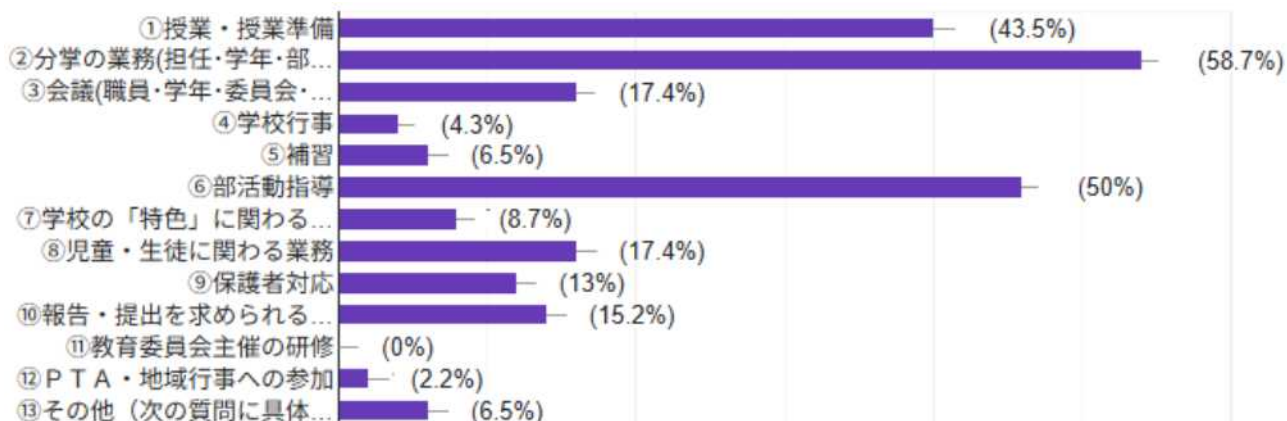
5) 超過勤務の時間の実態

○時間○分	勤務時間				休憩時間の勤務		持ち帰り仕事	
	2019年	2025年	最長	休日出勤	2019年	2025年	2019年	2025年
高等学校	55:30	53:44	75:51	51.6%	1:18	1:17	1:34	1:08
特別支援	47:02	49:42	63:30	17.6%	1:44	2:13	0:56	0:45

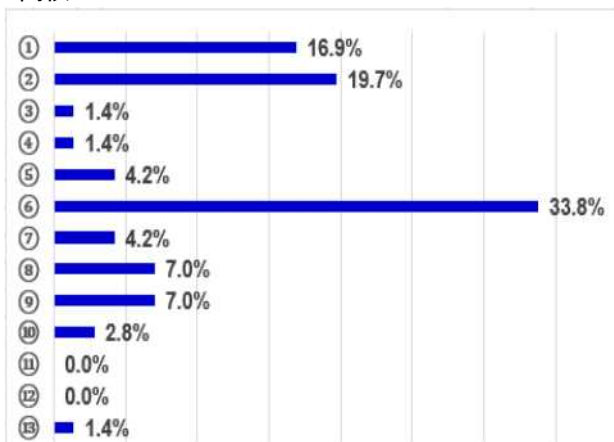


6) 超過勤務の主な原因となる業務(選択肢から3つ以内で回答)

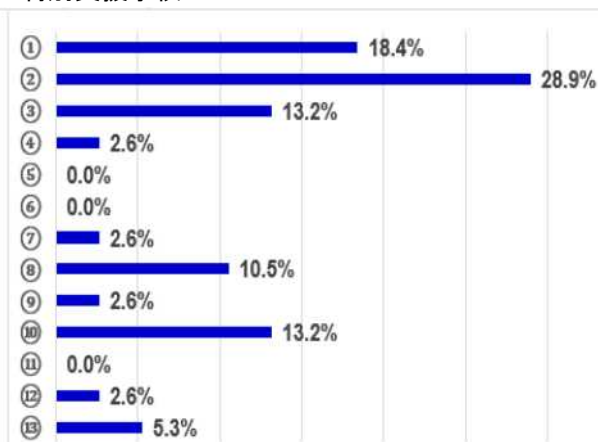
<全体>



<高校>



<特別支援学校>



⑬の具体例(抜粋)

<高校>

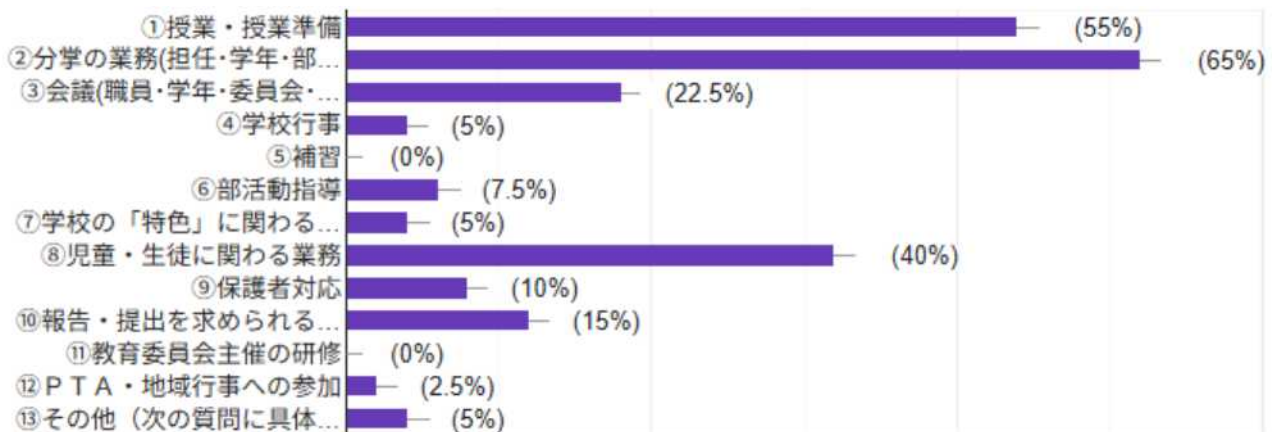
・ももとの仕事量が多い。できる人が負担してしまい、偏りがある。人員不足。

<特別支援学校>

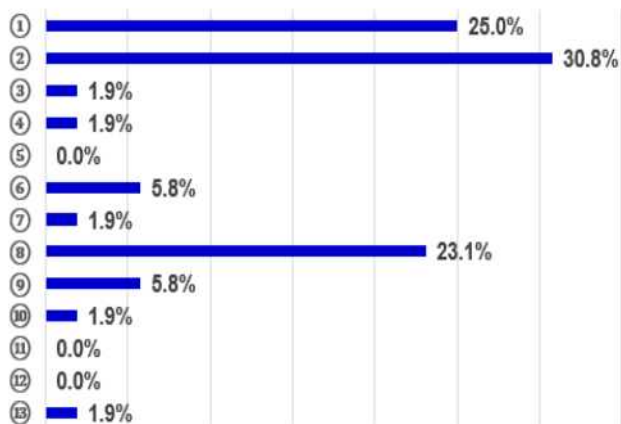
・給食の管理

7) 休憩時間が確保できない主な原因となる業務(選択肢から3つ以内で回答)

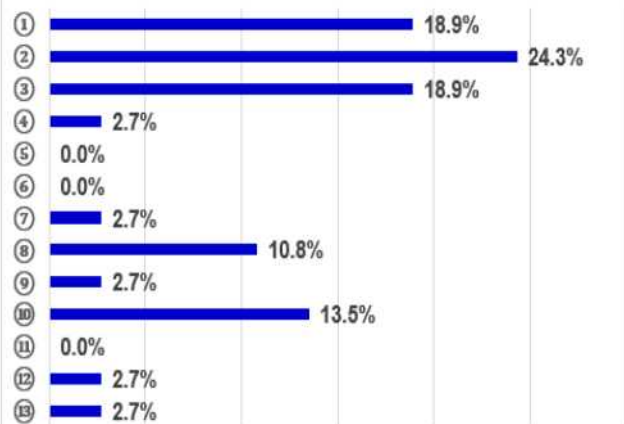
＜全体＞



＜高校＞



＜特別支援学校＞



⑬の具体例(抜粋)

＜高校＞

- ・提出物の点検、事務処理

＜特別支援学校＞

- ・給食の管理

8) 超勤について困っていることや、こうしてほしいと思っていること

＜高校＞

- ア. 今は再任用週3日なので、できるだけ定時に帰るようにしている。しかし持ち帰り仕事は必ず出てくる。現役の時月の超過時間が250時間に達する月もあった。真面目に仕事をすればそうなる。いい加減件はきちんと無法状態をやめて、労基法に沿って手当を民間並みに出すべき。あるいは本当に仕事をしないような環境をつくるべき。
- イ. 未経験の部活動の主顧問かつ副顧問も移動1年目で運動部未経験、そんな主顧問を初任に任されるのはさすがに負担が大きく、超過勤務もやむを得ない。
- ウ. 学校の電話が16:45以降外部からの連絡が取れないため、保護者連絡が20時以降と言われたら、その時間まで待って電話をしないといけないこと。保護者の方から、もっと早くに電話としてもらえるかもしれないのに、待たないといけない。高校生になるとパートに出ている保護者も多く、17:00以降でないとつながらない家が増える。
- エ. 日中に業務を処理する時間をもっと欲しい。そのための一つの手法として、35人学級の導入またはそれに準じた教員数確保
- オ. 勤務時間を固定するのではなく、変動できる柔軟な運用をできるようにしてほしい。国の指針もそうになっている。例えば夏季休業中に熱中症対策で7時から部活動をし、時間外なので定時に出ても、1時間20分の残業である。しかし、変形労働が認められ、1時間20分早く出れば残業なしとなる。県が現状の働き方を抜本的に変えないのであれば、変形労働制の導入は必要である。他の地域の公務員であるが、変形労働制による週4日勤務の事例もある。もっと働きやすい柔軟な対応を望む。
- カ. 超勤についてはそれが仕事だと思っていますし、定時に帰れないこと自体にストレスは感じません。ただ超過した分の見返りは欲しいかなと思います。
- キ. 生徒指導業務で遅くなった時は会議でなくても割り振りをさせてもらいたい。(特に保護者対応。電話も含む)

- ク．割り振り変更をもっと使いやすくして欲しい。12 週間の縛りをなくすなど。また、手続きが複雑で煩雑。
- ケ．削ってはいけない業務や削らないほうがいい業務があります。人を増やして一人あたりの業務量を減らしましょう。まわりに気がねして休めないとか、休む余裕がないのに無理やり年休等を消化させられる状況を改めさせましょう。
- コ．部活動は教育に必要と考えるので、なくすのではなく、手当をつけてほしい。
- サ．部活動指導に対する手当を厚くしてほしい。
- シ．ノー部活動の徹底、定時後の保護者対応
- ス．テレワーク兵庫をよく使っているので、ログイン・ログアウトの時間だけではなく、P Cをアクティブに使っている時間を計測したほうがよいと思う。それは技術的に可能だと思う。
- セ．教員の人数を増やしてほしい。総合学科は特にもっと教員を増やすべきです。

＜特別支援学校＞

- ア．休憩時間も仕事をしないと家に帰る時間がどんどん遅くなるだけです。
- イ．もとの国の規定人数を変えて、増やして。学校の役割を減らして。子どもの教育活動に費やせる時間を確保してほしい。
- ウ．土日祝日の水やりがたいへんです。今回は、野菜を撤収した後だったので、たまたま、勤務がありませんでした。
- エ．下校時刻を早くしてほしい(総授業時数を減らしてほしい)、教員を増やしてほしい
- オ．書類の多さ、同じような内容で多くの書類がある。人が少なく、担当仕事が多すぎる
- カ．教員を増やしてほしいが、大規模校だと教師間の打ち合わせが必須になる。学校を小規模、分散にすれば超勤を平すことにつながると思う。
- キ．休憩時間に不登校生徒の対応がある。
- ク．超勤がとれるしほりがあるので、しほりをゆるめたり、取れる時期、期間を広くとるなどしてほしい
- ケ．栄養教諭ですが、調理員さんが休むと、調理に入らなくてははいけません。通常の業務ができず困っています。近隣校等と合わせて、休んだときの人員を確保してほしいです。